

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 2月 24日

事業所名 鈴鹿市第2療育センター

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	無回答	工夫している点等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	15	2		1	・狭いと感じることがある。遊具の配置を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	9	8		1	・配置数は適切だが、児童の状態によっては、もっと人数が必要なクラスもある。 ・療育等安全を考えると不足していると思います。 ・職員数が足りていない。 ・もっと欲しいと思うことがある。 丁寧に検討する業務と簡素化できる業務を整理したい。	・職員数の不足にご意見に関して、改めて、業務内容の改善や職員のスケジュール管理の見直し等を図っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	3	1		・玄関～テラス（廊下）～靴箱が分かりづらい。靴を脱ぐ場所を分かりやすくしたい。 ・気付いた所は、その都度改善する。	・靴箱・靴を脱ぐ場所について分かりやすくすることについて、職員会議にて検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16	2			・雨天時、暑い日や寒い日等は、テラスの環境が厳しい。 ・掃除はしているが、テラスは砂埃もあり、雨も降りこむ。暑さ、寒さもあり、環境としては過ごしにくい。 ・清潔にはしているが、色々な年齢の子が使用するため、その都度変化させている。	・毎朝、職員でセンター内の清掃を行い、利用者様に少しでも気持ちよく通所していただけるように努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	6	2	1	・曖昧なことが多いように思います。 ・気付いた所は、その都度改善する。	・運営会議や職員会議で、業務改善における内容について協議しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15	1	2		・広報紙で外部へ発信。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	17			1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	6	1	4	・把握できていません。 ・外部評価未実施。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	17		1		・運営規程に基づき、年10回以上職員研修の機会を確保している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	1	1	2		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	6		1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	3	2	1	・家庭支援、特に地域支援が弱いと感じる ・その都度、改善中。	・児童発達支援計画に「発達支援は本人に関する項目（あそび、生活、運動、コミュニケーション等）の設定」「家族支援は、保護者のニーズの設定」「地域支援は各関係機関（地域）との連携を設定」の各具体的内容が記載しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15	1	1	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	2	2	1		

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	無回答	工夫している点等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	4	1			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	17		1			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	17		1			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	17		1		・引継ぎノートを使用し、次回に生かせるよう伝えていく。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17		1			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	17		1			
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	16		1	1		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	1	2	1	・必要に応じて連携しているが、まだまだ外部とのつながりは薄い。	・今年度より5歳児健診の報告会に出席させていただき、更に関係機関と連携して支援に繋げていきます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10		2	6	・必要に応じて連携しているが、まだまだ外部とのつながりは薄い。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	2	2	7		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16		2		・必要に応じて連携しているが、まだまだ外部とのつながりは薄い。 ・必要に応じて、保育所、幼稚園等訪問している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16		2		・必要に応じて連携しているが、まだまだ外部とのつながりは薄い。 ・必要に応じて訪問。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	2	2	1	・必要に応じて連携しているが、まだまだ外部とのつながりは薄い。 ・他の事業所と関わりを深めること、連携することは、今後の課題だと感じる。 ・三重県障害児通園施設等連絡協議会に参画して、県内の児童発達支援センターと情報共有や研修会の開催等連携している。 ・コロナ禍で減少。	・県障害児通園施設等連絡協議会・市内自立支援協議会(相談部会・障害児通所支援事業所担当者連絡会)に参画して、他市児童発達支援センターや市内事業所様と情報共有・意見交換や連携して研修会の開催をしています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	11	1	1	・コロナ禍のため、交流保育が実施見合わせ状態である。 ・コロナのため、交流保育がストップしている。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13	2	1	2		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	16		2			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	10	2	2	・ペアレントトレーニングとしてのプログラムは実施していない。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	1	1	2	・自分が説明することが少ないため、私自身の理解が足りていない。	

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	無回答	工夫している点等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	17		1			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16		2			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	14	1	2	・保護者会等を実施していない。 ・保護者会等はないが、保護者同士が話せる環境作りができるよう心掛けている。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15	2	1			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	16	1	1		・メール配信を利用して、広報紙を保護者に年2回発行した。（新規事業）	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	16	1	1			
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16	1	1			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	5	2	2	・行事は行っていないが、ボランティアの受入れを行っている。 ・新型コロナのため、地域住民を招待する行事が中止となっている。 ・ボランティアさんが来てくださる。	・コロナ禍における地域連携として、地域向けの情報発信（SNS・広報紙等の活用）を予定しています。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	3	1		・新型コロナ対応マニュアル策定済み。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		17		1			
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		15	1	1	1		
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		14	2	1	1	・医師の指示書の提示は求めていないが、保護者からの聞き取りにより対応している。 ・保護者からの申し出で対応している。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		14	3	1		・ヒヤリハットの報告をその都度あげていただき、ファイルにまとめている。	・ヒヤリハットの報告だけにとどめず、職員会議で事例を共有して、再発防止に努めています。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		13	3	1	1	・まだ研修機会がない。防止には努めている。	・虐待防止研修会に職員が参加しました。次年度以降も研修を受講していきます。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		8	4	1	5		